

# 大石地区まちづくり協議会だより

第2号

2014.2

発行  
大石地区まちづくり協議会  
松阪市大石地区市民センター内  
TEL 0598-23-0004

## 発足以来2年を歩む



大石地区まちづくり協議会 会長 鈴木恭一

全市的に結成された、当まちづくり協議会も発足以来二年を経過しましたが、客観的みて積極的に活動されている、又あまり活動されていない、情報の発信、PRの度合いにより千差万別です。当協議会内でも他地域には例をみない活動があり、「ねたきりゼロ」をめざして、をテーマに各地域ごとに元気アップ教室を大石こまち（小町）会員の皆様を中心に開催、「日常の体調測定」「体調整体操」「下肢筋力トレーニング」「おしゃべり」等の活動が、初期の目標をほぼ達成しました。関係者各位の協力の賜物と感謝をする次第です。今後はこの活動が一過性に終わることなく、継続出来るよう皆様の協力を得ながら努力する必要があります。

昨年、「まちづくりについて」の「みんなの声」アンケートを全戸対象に実施、地区内5ヶ所に自安箱を設置しました。回収件数は大石地区12件、小片野地区15件、六呂木地区12件と、期待に反した結果がありました。

まちづくり協議会の存在認知を、住民の皆様にいかに徹底周知するか反省点と課題を残しました。アンケート結果がすべてではありませんが、今後は老若男女を問わず巾広く住民の方々に参加してもらえるかが、鍵になる「人材の育成と担い手が課題」であります。これまで行ってきた地域活動の企画一つひとつが一過性に終わることなく、継続努力することが大切であると思います。住民の皆様の尚一層の参加協力をお願いする次第です。

## 小片野町へ木質バイオマス発電所建設へ

大石地区まちづくり協議会へ小片野地区内、材木等多く積んであるが、なにが始まるの？等質問が多く、このほど編集部で取材し、わかる範囲で連絡します。

今、建設が進行中のものは「木質バイオマス発電所」が建設されています。この発電は、荒廃が進む森林整備から発生し、価値のなかった未利用間伐材等を有効活用しながら、地域の雇用確保にもつながり持続可能で安全な発電を行うものです。建設の会社は、三重工ネウッド㈱で、木質バイオマス発電所で森林における皆伐、主伐、除伐等で発生する未利用原木（三重県内及び近隣府県から出材された原木）を燃料として使用いたします。使用する木質チップは、「森林以外から発生する建築系廃棄物は一切使用いたしません」とのことでした。

燃料となる木質チップは、三重工ネウッド㈱が集材した原木をウッドピア木質バイオマス利用協同組合にて加工し、供給を受けます。（発電所内の加工は行いません。）環境面におきましては、「騒音・振動・ばい煙・排水の法的な基準はクリアしています」と言っていました。

2014年11月より発電を行う予定で土木・建築工事が開始されています。作業時間は、原則 午前8時から午後6時まで（日曜休工）と致します。

「完成までの間、細心の注意を払い安全第一に徹して作業を進めていますので、何かとご迷惑をおかけすることと思いますがご理解のほどよろしくお願い申し上げます」と関係者は話していました。

政府は「東日本大震災」にて原子力発電所の安全性が大きく崩れたことを背景に、国内に存在する全ての原子力発電所を停止しました。その結果、国内において必要不可欠である電力の供給不安が引き起こされ、一時的な混乱に陥ることとなったのは記憶に新しいところです。

将来にわたり国民が利用する電力の確保を安定したものとすると同時に、それに伴うエネルギーを考え、政府は安全で再生可能な自然エネルギーを利用した太陽光・風力・水力・地熱・バイオマス発電を促進することを目的に「再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）」を法制化し、平成24年7月に施行されました。

(編集部より)



## 地元に熊が出た？ 人騒がせな話

大石公民館長 紀平泰三

「本日午前4時30分頃、松阪市小片野町で熊を見た、と言う情報がありましたので、ご注意して頂きます様に」と波多瀬町の防災無線で流れた。昨年の10月12日（土）の午後5時頃の事である。

当日は南小学校の体育館にて、公民館及び福祉社会主催の芸能発表会の日で、後片付けを終えて、自宅に戻り、皐月の盆栽に水をやっていた時の事なのである。我が家は実際にこの波多瀬町の防災無線が良く聞こえるのである。小片野町と言う事で、びっくりしたのであるが、熊が出ると成ると、奥出方面ではないか、と思い、すぐさま、副自治会長の奥出克也君に連絡を取った。「私も今、波多瀬町の親戚から電話があったばかりで、どの辺に出たのかさっぱり分からぬ」とのことであった。すると心配した地元の方々から「何処だ、何処だ」と何人の人から電話があった、そこでこの波多瀬町の防災無線は多気町役場から発信しているのだから、多気町役場に連絡を取った。

「松阪警察署の方から連絡があったので、放送致しました」との事で、

詳しい事については分からぬとの事である。松阪警察署に電話を入れた、この情報を受けた警察官が「本日の午前4時30分頃、飯高町の山に登山をしようと思って国道を走っていると、この国道を横切った熊がいた」という情報で、場所は六呂木町から少し坂を降りて来た所だったそうです、この情報をくれた人の氏名・住所等は控えていますが、個人情報保護法の点から教えられません、ただ、ふざけたものでは無いと思いますので、関係市町村に連絡を致しました」とのことであった。

市長の携帯電話に電話を入れ「熊が出たのであれば少なくとも関係自治会には連絡をしてもらいたいのだが」と言うと「私にその様な連絡が無いのです、もし、松阪市に連絡があれば、貴方の言う通りですが」との返事であった。

まあ、しかし、朝4時30分頃と言うとまだ暗く、きっと鹿か猪かの見間違いたとは思うのであるが、本当に人騒がせな話である。

## ◆全員で力を合わせ楽しい時間を作る(松阪市社会福祉大会で)

健康福祉部会 部長 杉本昭子

松阪市社会福祉大会 福祉フェスティバルが12月1日にハートフル三雲で開催される事になり、大石こまちのメンバー等と相談し、10月に出場する事に決めました。

中ホール、大ホールの2会場で各20分間です。中ホールでのスケジュールはトリを任せ、大ホールは記念講演 木下博勝先生(プロレスラー ジャガーヨシタさん)の後ですので介護高齢課の人達にもアドバイスを頂き、又、メンバーで知恵を出し合い、プログラムを作成しました。

日々、練習に取り組み、ハートフル三雲にも出かけ、入念にリハーサルもしてきました。それでも当日は全員、ハラハラ、ドキドキでした。

中ホールでの成功に安堵する間もなく大ホールでの出番です。大ホールでは何百人もの人達の前で足もすくみましたが、全員で力を合わせて演技に取り組み、舞台も客席も一体となって和やかな雰囲気となり、楽しい時間を作る事ができました。しかし、冷静に振り返ってみると、反省する事もたくさんあり、次の機会にはもっと素晴らしいものを作り出して行きたいと考えています。

私達がこの事業に取り組めるのも、家族の理解は勿論、地区の皆様のお陰と感謝しています。

今後も地区の皆様の御協力を頂いて、住んでいて良かったと思って頂ける大石地区まちづくりと共に、笑顔で明るい寝たきりゼロを願っています。



元気アップ教室の組織図



市社会福祉大会へ出場



舞台も客席も一体で…

## ◆防災訓練、心臓マッサージから救助へ

防災防犯部会 部長 勝田敏樹

昨年11月10日、大石地区まちづくり協議会 大石町、小片野町、六呂木町合同防災訓練を南保育園運動場で行いました。多くの方々に参加して頂き誠にありがとうございました。

防災訓練の主な内容は、AEDを使用した心肺蘇生法のデモンストレーション、防災グッズの展示・使用方法、防災食の試食、水消火器による消火器の扱い方、ホースの結合・取り扱い方などで、皆さんに体験して頂きました。

普段なかなか目に触れる事のないAED、最近は事業所・学校等に多く設置され、実際扱われた方も見えるかと思います。ですが、いざとなると知識がないと扱えないこともあります。今回の訓練では、人形・AEDの練習機を使用し、心臓マッサージから救助までの一連の流れを見て頂きました。防災グッズの展示では展示に加え、パンフレットによる防災商品をいくつか紹介をさせていただきました。防災食アルファー米の試食では、お湯と水の両方で食べくらべをしました。お湯または水を入れるだけの簡単な調理で食事ができ、お湯を使用すると15分でできあがり、水だと1時間となっています。今回は試食ということで、事前に準備をして行いましたが、実際には、お湯は使うことができるかどうかはわかりません。災害が起きた時にうまくできるよう、普段から体験しておくことも重要です。また、最近では備蓄等、最低でも水、食料は、一人で3日分を確保しておく事が必要だと思いました。

そのほか消火器、ホースの使用による初期消火の訓練をして、短い時間でしたが、地域の皆様と消防団との連携となりいい訓練だったと思いました。

最後になりましたが、今後も地域の皆様とのつながりを大切にし、将来起こる可能性のある災害に少しでも役に立つ防災訓練を、開催したいと考えていますので、今後も防災訓練の開催にあたりましては、多くの皆様の参加をよろしくお願ひいたします。

## ◆活動計画の取り組み企画内容紹介

スポーツ文化部会 部長 桑山 齊

白猪山登山は4月13日予定です。毎年飯南の石尊山の祭りに合わせて計画し、小学生・中学生共に一般の方も参加しています。白猪山頂上まで飯南の人達が餅を持ってきてくれていますので餅ひろいも楽しみのひとつです。

市民体育祭は5月下旬予定です。小学校の運動会は午前中、午後からは市民体育祭だったが10年前から分けずに一緒にするようになり、中学生・小学生に運動会の準備等を手伝ってもらうようになって高校生になっても参加してくれるようになりました。大石地区まちづくり協議会になって順位で賞品に差をつけて行ったが、それが好評で毎年運動会を楽しみにしてくれています。

三地区グランドゴルフ大会は9月下旬予定です。今年で7回目射和小と南小で持ち回りで行っていますが26年度は南小で行います。小学生は参加してくれるが中学生の場合、大会とか練習とか色々日程を合わせるのが難しいけど参加してもらうと老人会や独居老人との触れ合いにもなると思います。

文化祭は11月中旬予定です。健康診断受診（骨密度等保健婦さんと話）や作品展示（墨絵・手作り作品・絵画写真等の展示）等多くの参加出展をお願いします。

また、送迎バスも出していますので、利用して下さい。

ボウリング大会は1月下旬です。小学生から70歳前後の方が参加してもらっています。いつも30名程度参加で参加費500円、サンパークボウリング場（13時～16時前後）で開催します。

大江中木工教室（大工組合）は1月中旬予定です。大工組合の人が中心になって中学生に木工作品の指導を行っていますので参加して下さい。

ウォーキングは3月2日予定です。飯高から松坂城まで、松阪から伊勢神宮まで、美杉まで、相可周辺・馬越峠・関宿等も歩いています。20年以上継続している人や初めての人などです。予定人員は40名までOKです。今回の予定はツヅラト峠（熊野古道（大内山））ですので多くの参加を呼びかけています。

## ◆共通する課題、当協議会部会で企画

環境総務部会 部長 高岡弘幸

環境総務部会は今年も新聞作りのお手伝いをさせていただきました。

環境総務部会は、自治連合会・大石観光協会・大石商工会・石野木会・笑成会・五月会・六呂木環境保全会・小片野十日会からなり、各団体は、草刈・ゴミ拾い等のボランティア活動をしています。

各団体が、大石地区まちづくり協議会の、どのような活動に取り組んでいかなければならぬか、まだまだわかりにくく、自治会活動、公民館活動との関係など理解していない団体もあり、三町が共通する課題を当協議会で企画し、取り組み、活動していくか等模索中であります。

主に、ボランティア精神で活動し、自立した団体が多く、また、各団体の環境整備の役割もこれまで長年にわたり自然と分担されていました。

そんな中で、少しずつではありますが、大石地区まちづくり協議会活動への参加となっています。これからもっと大石地区への環境整備に役立てるような部会にしたいと思います。

## 「今年も待ったよ。一人ぐらしの方々」—大江中学生、福祉活動へ—



大江中学校では、今年も12月19日(木)65歳以上のお一人で住まわれている方々を訪ねて手作りのクリスマスカードとシクラメンを贈り、時間の許す限りお話をさせていただきました。この活動は2・3年生にとっては楽しみの一つになっています。今年もみなさんから「遠くまでよく来てくれたなあ。ありがとう。」「今年も待ったよ。」「受験がんばってな。」など言葉をかけていただきました。生徒の感想では「ありがとう何度も言っていただき、とてもうれしかった

「地域の皆さん元気一杯だったので、自然と笑顔になれた」3年生の生徒からは、「来年この活動ができるなくなる寂しく感じる」「近所の日常からもっと会話をしようと思う」など生徒みんなが温かい気持ちになりました。1年生にとっては、9月の福祉活動とは少し様子が違って緊張したと思いますが活動を終えて「来年が楽しみ」という声を聞くことができました。そして80歳以上の方には手作りの年賀状を送らせていただきました。

当協議会から毎年助成しています。



(訪問先確認作業)